

実践事例② 大田区立大森第五小学校

1 取組・活動名

「ブルートライアングルプロジェクトへの積極的な参画」

2 取組・活動のねらい

- 行政（大田区）・地域と連携して、「蝶の舞う素敵な街おおた」を目指し、隣接した広大な公園（平和の森公園）でのボランティア活動や飼育栽培活動を通して、児童の豊かな心の育成に取り組み、持続可能な社会を形成するための参画意識を育てる。

3 教育課程上の位置付け

「理科、総合的な学習の時間、生活科・各学年8時間」

4 実施上の工夫

- ・ ブルートライアングル(和名アオスジアゲハ)はクスノキ(大田区の木)を食草とし、ランタナ(帰化植物)や、ヤブガラシ(雑草)を吸蜜植物とする欧米では大変人気のある蝶である。
- ・ 本校に隣接している公園はクスノキの圃場として整備されているので、数は少ないが従来からアオスジアゲハは本校に飛来していた。大田区は平成26年度からその公園にバタフライガーデンを整備するなどして、オリンピック・パラリンピック施策の一つとしてブルートライアングルプロジェクトに取り組んでいる。
- ・ そこで、従来から取り組んでいる地域環境を生かした教育活動に、ブルートライアングルプロジェクトへ積極的に参画することを加え、より児童の豊かな心の育成を図ることにした。

5 本取組・活動の内容

「年間活動計画」

| 月 | 取組の具体的内容 | 月 | 取組の具体的内容 |
|----|----------------------|-----|------------------|
| 5月 | クリーンアップ大作戦 クスノキ調査 | 9月 | お花畑整備 クスノキ整備 |
| 6月 | 卵の採取 飼育 | 10月 | 卵の採取 クリーンアップ大作戦2 |
| 7月 | 夏羽化 お花畑づくり | 11月 | 秋羽化 飼育 |
| | | 12月 | 越冬さなぎの保護活動 |





「活動の概要」

- ・ 隣接する広大な公園（平和の森公園）を、生活科で活用するだけでなく、縦割り班活動でのクリーンアップ活動、クラブ活動での季節遊びクラブ、体育での持久走大会、国語の野外創作活動（短歌・俳句・詩等）や朗読発表会など豊かな自然を活用した教育活動が本校では日常的に行われている。
- ・ この公園の大きな木はすべてクスノキであり、そのクスノキを食草にしているのがブルートライアングル（アオスジアゲハ）である。



「観察の様子」

- ・ ブルートライアングルの産卵・孵化・脱皮蛹化・羽化等の瞬間を観察することが全学級でできた。児童はブルートライアングルに大変興味を示し、主体的に活動することができた。
- ・ 羽化したブルートライアングルは児童の手や腕、指に止まり、飛べる状態になるまで、羽を乾かし、大空へ放蝶するまでじっとしている。

6 成果

- ・ 平成28年度はブルートライアングルを年間で約80頭羽化させ、校庭から大空に放蝶した。成果指標はチョウの羽化を観察できた児童の割合として、児童アンケート(12月末)では蝶の羽化を直接観察できた児童の割合は62.4%であった。当初予想していた以上の子どもたちが羽化を直接観察でき、生命の大切さを実感させることができた。
- ・ また、ブルートライアングルを愛おしみ、命の終末に直面しても生命として受け入れるようになった。しかし、ブルートライアングルの食草であるクスノキは高木が多く、吸蜜植物であるランタナ、ヤブガラシのお花畑整備を短期間で行うことは難しかった。
- ・ 学校職員が採取した幼虫を児童に与えることで成立した取り組みであるので、児童が主体的に活動できるようにするためには、環境の整備と安全の確保が不可欠である。そのためにはより行政（大田区都市基盤整備部・同区観光・国際都市部・同区教育委員会）との連携を強めることが大切であると考えている。